



平成27年3月18日

京都市立北醍醐小学校

校長 平松 志津江



## &lt;教育目標&gt; こころ豊かで たくましく生きる子どもを育てる

～やさしく（豊かな心）・かしこく（確かな学力）・たくましく（健やかな体）～

平成26年度 後期学校評価結果の分析と今後の手立て

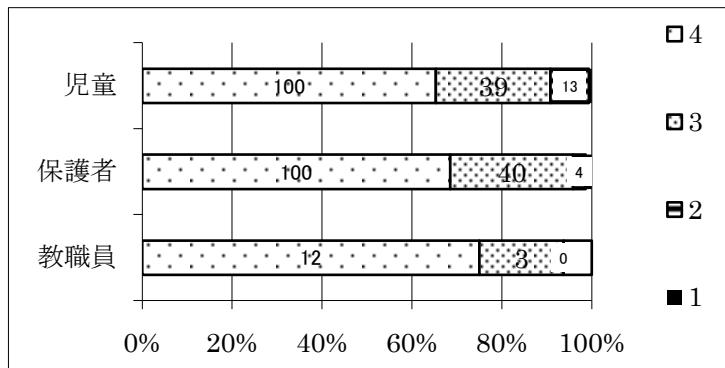
平成26年度 後期の学校評価にご協力いただき、ありがとうございました。学校教育アンケートの集計結果とその分析・考察、保護者様からの意見、学校運営協議会での学校関係者評価がまとまりましたので、みなさまにお知らせいたします。

## &lt;アンケート結果の集計より（児童、保護者、教職員）&gt;

前期に引き続き、以下の10の項目でアンケートを取り、項目ごとに児童、保護者、教職員それぞれをグラフ化しました。

右図にある1～4の数字は、アンケートの回答の項目です。

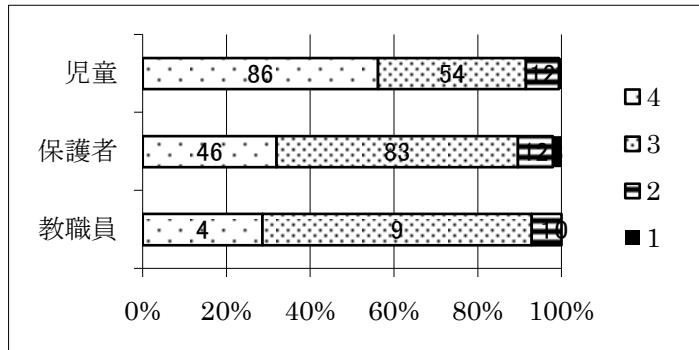
- 4. あてはまる
- 3. どちらかというと、あてはまる
- 2. どちらかというと、あてはまらない
- 1. あてはまらない

①子どもは楽しく学校に行っている。

児童の「あてはまる。」「どちらかというと、あてはまる」の合計評価（＊以下、肯定的評価とする。）が前回より少し下回り91%となりましたが、保護者、教職員共に前期評価とほぼ同じで95%以上あり、三者の評価から大部分の児童が楽しく学校生活を送っていると評価いただきました。しかし、約10%の児童が、否定的評価を回答しています。楽しく学校に行けない要因は何か、児童の困りの原因は何か等を探り、見つめて行きたいと思います。

## 手立て

- ・なぜ、肯定的評価が下がったのか、なぜ、肯定的評価に改善されなかつたのかを教職員一同再度考え、来年度の課題としていきます。
- ・拾い上げた各学級の児童一人一人の声を、学校全体の問題として教職員みんなで共有し、さらなる対策を講じ、特化して原因の解決に向かいます。

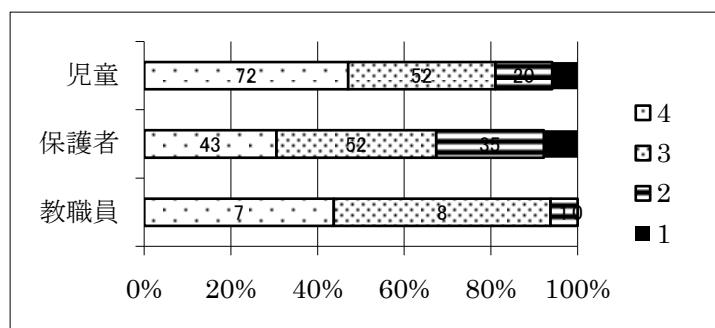
②分かりやすい授業が行われている。

肯定的評価の合計は、児童92%，保護者90%，教職員92%で、ほぼ、前回と同様の結果となりました。「分かりやすい授業の提供」について確かな改善策を講じ、「分かりやすい授業」となるよう教材研究を行ってきたことや授業実践力向上を図るために外部の公開授業への参加を積極的に行なった成果だと思います。そのことにより、後期の研究会テストやプレジョイント、ジョイントプログラムなどの結果が向上し、全市平均点を全て上回っています。

## 手立て

- ・学校では、今後も児童が良く分かり、主体的に問題解決に取り組める授業となるように、いっそう教材研究を深め、専門性を生かした授業が展開できるよう努めています。
- ・否定的評価をしている子どもたちに重点を置き、困りやつまづきの原因を探り、一人一人に届く授業の展開や個別指導の充実を図ります。
- ・OJTや同僚性を活用し、職場内で育ち合う仕組みを強化します。

### ③子どもは本を読んでいる。



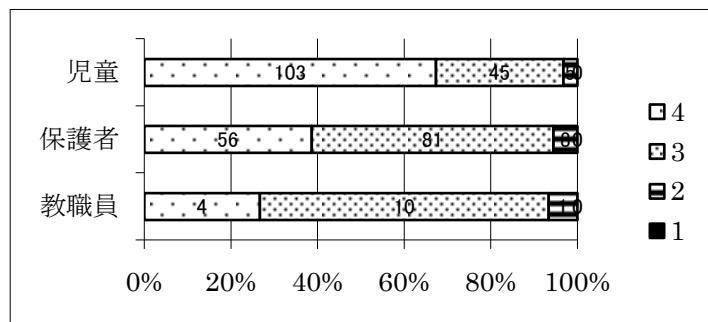
児童の肯定的評価は約80%で、前期と同様、担任、図書館支援員、子うま文庫の皆様やPTA読み聞かせボランティア様のご支援による成果だと考えられます。今後も引き続き読書への興味・関心を高める取組を重ね、子どもたちの心の豊かさを育てていきたいと考えています。ただ、保護者の評価が前回同様70%ほどで、児童と保護者との間で肯定的評価に開きがあります。

学校では児童は読書習慣が形成されており、意欲的に読書に向かっていますが、児童の家読（うちどく）の増加に至っていないことが気がかりです。

#### 手立て

- ・図書室のさらなる積極的利用を計画したり、本を積極的に貸し出したります。また、児童にとって魅力ある本の購入を積極的に行っていきます。
- ・学校読書と『家読（うちどく）』がつながるよう、子どもたちに助言していきます

### ④学級は子どもどうしが仲が良い。



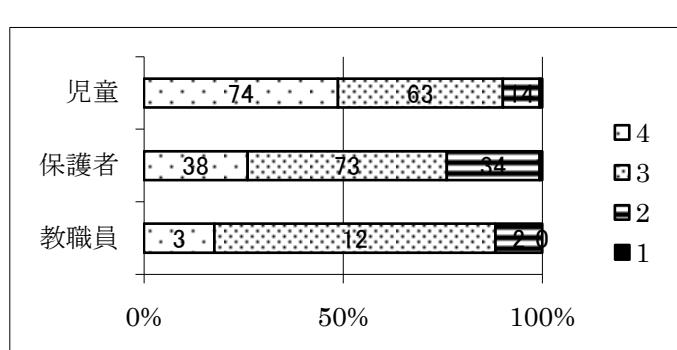
三者の評価とともに、前回同様96%以上の肯定的評価でした。今年度の学校経営方針「やさしさに満ちた学校を創る」による取り組みでの成果であるとも考えられます。今年度は、児童、教職員共に優しさに満ち溢れ、協働して活動できました。

また、保護者や地域の皆様が引き続いて温かく見守ってくださいたおかげだと思います。

#### 手立て

- ・今後も全教職員が全校児童の事を丁寧に見つめ、児童のより良い関係の構築に努めます。
- ・少數ながら存在する否定的評価をした児童の理由や原因を探り、その解決に向かいいます。

### ⑤子どもはすすんであいさつができている。



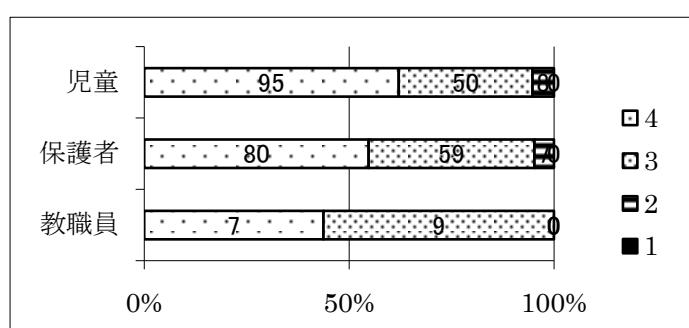
児童の肯定的評価の合計が約90%と前回よりさらにアップしました。児童自身は進んであいさつができていると考えています。

ただし、保護者の肯定的評価は前回より少し減って76%となっています。児童は、自分では進んであいさつしていると考えていますが、保護者からは「自分から進んであいさつできない」と見られているので、この差が出たのではないかと考えられます。

#### 手立て

- ・児童と保護者が具体的なあいさつの仕方やあいさつする場面について共通理解し、進んであいさつできるように指導、お知らせをしていきます。
- ・「進んであいさつする」という態度行動のモデルとなるよう、今後も教職員がまず実践します。

### ⑥子どもは学校のきまりやルールを守っている。



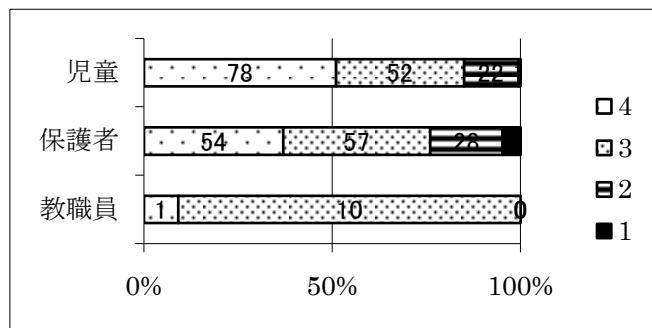
前回同様に三者とも95%以上の良い評価結果でした。「きちんとすること」の見える化の継続と児童自身が学校のきまりやルールを守る事があたり前という考えになっているのだと思います。

また、教職員の指導の徹底も成果につながったと思います。

#### 手立て

- ・今後も児童が学校のきまりやルールを守り、あたりまえのことがきちんとできているならば、確かに評価し、ほめていきます。
- ・きまりやルールが守られていない場面では、どの教職員も同一基盤に立った指導を続けていきます。

## ⑦子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。

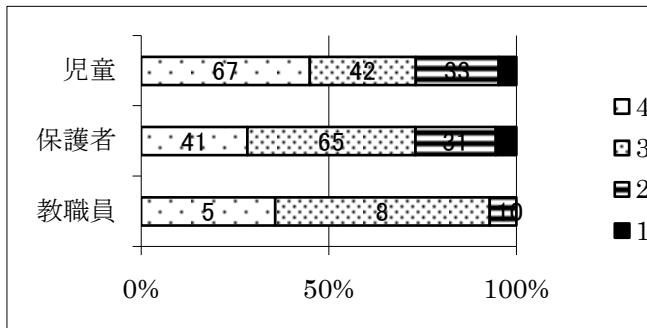


児童の肯定的評価は前回より5%減り約85%に、保護者の肯定的評価は前回より5%増え約75%となりました。児童も保護者も、学年×15分の家庭学習（自学自習）が不十分であるととらえられていると考えられます。教職員（主に担任）は、指導により、クラスでの宿題の提出の確認と忘れた児童への指導の徹底がなされているので肯定的評価が高いと考えられます。

### 手立て

- ・家庭学習の内容について、学年の発達段階に応じて再度教職員で協議し周知していきます。
- ・今後も、家庭学習の点検と指導を徹底し、家庭学習への意欲の喚起にいっそう努めます。
- ・宿題が早くできても、学年×15分の家庭学習（自学自習）ができるように指導していきます。

## ⑧コミュニケーションが取れている。



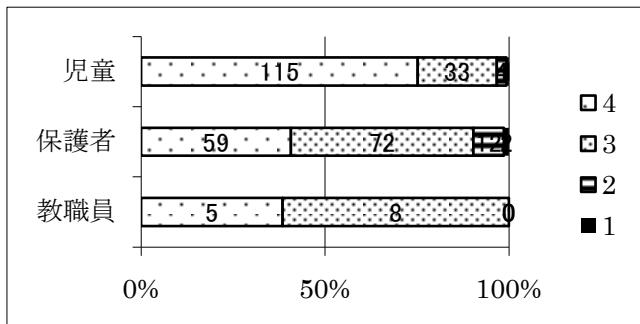
児童の肯定的評価が前回より10%減り、約73%になりました。保護者と教職員は前回とほぼ同様で、保護者73%，教職員93%でした。

教職員はチームという認識を持ち、保護者とコミュニケーションがとれないと感じていますが、児童は先生を頼ることが少なく、保護者は「気軽に話せる教職員がいない。」と考えられている方が、おられると思います。

### 手立て

- ・今後も、児童への関わりを最優先させて深め、よりチーム力を高め、機動力を生かして対応していきます。
- ・開かれた学校を目指し、保護者、地域の方、どなたにも気持ちの良い対応を心がけ、話しやすい教職員と思っていただけるよう誠意をお伝えしていきます。

## ⑨教室内の整理や安全に配慮している。

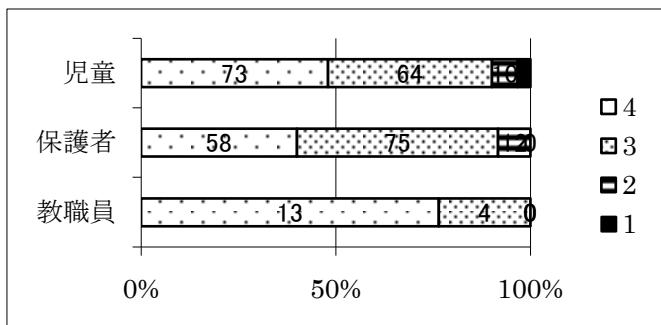


児童、教職員は前回と変わらず95%以上の肯定的評価でしたが、保護者の肯定的評価が前回より5%減って、約90%となりました。より安全で、より清潔な学校づくりを目指して環境整備に励んできましたが、保護者の皆様の肯定的評価の減少については、真剣に考えてかねばならないと考えています。

### 手立て

- ・全教職員で、安全について協議し、安全に対してのセキュリティの強化を進め、子どもたちが安心して活動できる教室及び学校環境となるよう取り組んでいきます。
- ・想定外をも想定し、いっそう安全対策を整えていきます。

## ⑩学校だより、お知らせ、ホームページで学校のことがよくわかる。



児童、保護者、教職員三者とも前回同様92%以上の肯定的評価を得ています。ホームページにおいては、毎日の更新により、保護者のみなさまに学校での児童の様子などをお伝えしています。学校だより、お知らせなども学校からの大切な広報活動と認識しております。

### 手立て

- ・今後も学校での児童のがんばりの様子や、出来事、行事予定等をお知らせできるよう、ホームページや、お便り等でお伝えしていきます。
- ・お便りやメール配信の活用を通して、正確な情報をできるだけ早くお届けします。
- ・学校からの配布物が確かに手元に届くこと、また、お目通しあげやすいう心がけます。

## <自由記述欄にいただいたご意見>

保護者の皆様から「学校経営改善のために参考となるご意見」をたくさんいただきました。関係者評価で頂いたご意見を反映させ、項目別に要約して掲載いたします。

### ○教育活動について

- ・保健、給食についての学校の取り組みが素晴らしい。
- ・子どもたちが、野菜を育てることはとても良い
- ・少人数になり落ち着いて学習している。引き続きお願ひしたい。
- ・交換授業は良い方法だと思うが、少し多い。
- ・交換授業は良い方法だと思うが、少し多い。
- ・高学年には指導力のある教員を配置してほしい。（3名）
- ・信頼のおける指導をしてもらいたい。（発表や指導の公平性・採点ミスの改善等）（2名）
- ・みんなできちんと掃除をする指導をしてほしい。（2名）
- ・授業時数と子どもと向き合う時間の確保を。（2名）
- ・交換授業は良い方法だと思うが、少し多い。
- ・児童数の少ない学校ならではのきめ細かい学力指導を。
- ・宿題は15分×学年の7割程度にしてもらい、残りを自主学習の習慣作りにさせたい。

### ○教育環境について

- ・学校に行くたびに整備や清潔さが向上していて、気持ち良い。
- ・音楽環境の充実を。
- ・体育館の舞台裏、倉庫等、掃除を。
- ・家庭科室の掃除を。
- ・ランチルームは美しく素敵な部屋で、いろいろと楽しい活用ができるよう工夫してもらっているが、床のワックスのにおいが強いで換気を。
- ・体育館のトイレの水流が弱いので改善してほしい。

### ○その他

- ・ホームページで学校の様子が分かる。北醍醐で良かった。（3件）
- ・アンケートを取ることで、学校が子どもたちのために一生懸命改善に取り組もうとする姿勢を感じる。
- ・学校教育アンケートは、全て記名式にすべきである。
- ・高塚山登山の縦割り活動はとても良いことだが、高学年児童の負担が大きい。
- ・家ではほとんど読書をしないので、家でも読書をするようなきっかけを作ってほしい。
- ・子どもが学校の事を話してくれない。
- ・学校の予定表をもう少し早く出してほしい。
- ・学校便りに間違いが多い。
- ・防犯対策を十分にしてほしい。
- ・経費の公開も、学校経営の透明性を保護者に示すという意味で必要ではないか。
- ・PTA活動は少し保護者の負担が多い。
- ・PTA活動や学校行事は、学校教職員が主導してほしい。
- ・家庭でいらなくなつた本などの寄付を求める。

## <いただいたご意見に対する手立て・回答>

- ・学校での読書と家庭学習での読書がつながるよう家庭学習の課題としても位置付けていきます。主体的な学び方を身に付けるために、学年に応じて自主勉強のテーマや方法などを示し指導していきます。
- ・学習指導は、京都市立小学校指導計画（京都市スタンダード）並びに、本校の授業の進め方「北醍醐モデル」に従って授業を進めています。分かる授業をめざし、今後もいっそうの授業改善をしていきます。
- ・毎週、授業時数と学習内容については点検をしており、標準授業時数のこえた授業を提供しています。今後も、年間を見通した指導計画を作成し、授業時数・子どもと向き合う時間の確保に努めます。
- ・OJT のいっそうの推進を図り、担任の指導力向上を図ります。
- ・教職員も一緒になって清掃をし、清掃の仕方や意義について教え、清掃指導の徹底を図ります。
- ・これからもチーム力を発揮し、いっそう校内環境の美化に努めています。
- ・学校経理については、教育委員会の指導・点検のもと公金を適正に執行しております。今年度につきましては、北校舎南側通路の改修並びに舗装工事に多額な経費を執行いたしました。今後も、改善のご要望を勘案しながら、順次、環境改善を進めてまいります。
- ・学校だよりなど配布物の間違いについてはご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。今後、間違いの無いようにいっそう点検を確実に行います。
- ・行事予定については、年度当初に大きな行事についてはお知らせしております。また、翌月の行事については、学校便りの行事のお知らせの下欄にお示ししております。急な予定が入った場合は、できるだけ早くお知らせいたします。
- ・PTA活動については、小規模校のため皆様のご負担も多いかと思いますが、活動の主旨をご理解いただき、ご協力いただきますようどうぞよろしくお願ひいたします。
- ・独自の学校行事は、教職員が主体となって活動し、地域との共催行事も積極的に協働していきます。
- ・学校安全に対しましては、児童への指導、防犯訓練等実施し、今後も意識向上を図っていきます。また、来校者の確認については、録画機能のある防犯カメラにて怠りなく行っております。

## <学校関係者評価>

※児童・保護者・教職員の三者の評価の集計結果を分析・考察し、過日行われました学校運営協議会理事会で理事のみなさまに討議し、いただいたご意見について、お示し致します。

- アンケートでの意見について要約する場合は、内容を項目別に分けたり、同意見があればその累計数を記入してお知らせすると意見の重みが伝わる。
- 学校教育アンケートの項目や内容について、改善する時期が来ているのではないか。  
たとえば、③で「子どもは本を読んでいる。」については、「家で本を読んでいるか。」「1ヵ月にどれくらい読んでいるか。」等、より具体的な内容にした方が子どもの読書状況がわかりやすい。
- 保護者の学校に対する要望に関しては、学校評価アンケートだけでなく、意見箱を設置して、日常的に意見をもらい、その都度回答するというシステムを取ることも一方法である。どれだけ意見や要望について改善されているかが保護者に伝わり、コミュニケーションも取りやすいと思う。
- 読書ボランティア『子うま文庫』として、毎週2回子どもたちに読み聞かせをしてきた。どの子どもしっかり聞いてくれた。読み聞かせを楽しみにしてくれている子もいて大変うれしく思う。卒業する6年生は、6年間で96冊の本の読み聞かせを行ったことになる。来年度も続けていきたい。
- 掃除をせず、遊んでいる子がいる。今の子どもは、家で掃除をしていないので、学校で掃除の仕方をしっかり教え、丁寧に掃除をさせてほしい。
- 家で掃除をさせないのは、親のせいではないか。家でしつけとして、掃除の仕方を教えるべきである。
- PTAからご支援いただく物品等については、学校の希望申出を優先させることなく、ご理解を頂き決定することが望ましい。